



写真:ハナオチバタケ (撮影:平成29年9月22日)

「ハナオチバタケ」

枯れ葉に咲く花

紅葉の季節、山肌が徐々に染まってくっていく様子に心躍ります。見上げればヤマウルシやシロモジなどの色づきが早い葉はひらひらと落ちはじめ、地面にも彩りを加えてくれます。

落ち葉のたまったところをよく見てみると、小さな花が咲いていました。いえ、花ではなくキノコ。ハナオチバタケです。直径1センチほどの大きさをピンクや紫色。落ち葉のたまった所からその美しい姿を現します。ひよろひよろと弱そうな姿をしています。黒く細い柄の部分は針金のように硬く、丈夫です。ためしに地面から引き抜いてみると、朽ちかけの落ち葉につながっていました。このキノコは「腐生菌」と呼ばれる仲間で、落ち葉を分解し豊かな土を作る大切な役割を持っています。

花のように美しい、もしくは花よりも美しいハナオチバタケ。夏から秋まで、平地から山地まで発生します。見上げれば紅葉、足元にはキノコ。楽しい秋のハイキングを楽しみましょう。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

ハナオチバタケ ハラタケ目 ホウライタケ科
Marasmius pulcherripes

